

Sinsere ワークショップ 東京・根津



2006年9月16日(土)、お祭りで賑わう根津の不忍通りふれあい館で、ワークショップ「わび・さび2.0」を開催しました。

講師に図書館プロデューサー、CMプロデューサー、大学講師など多彩な肩書きを持つ平野雅彦先生をお迎えし、雪月花の3チームに分かれてグループ学習を行ないました。

ワークショップは、3部構成で行なわれました。1部 茶道の歴史と「わび・さび」の違いについて2部 根津の町で、「わび・さび」を探し、写真撮影3部 町で見つけた「わび・さび」を使って、誰かをもてなす茶会を組み立て

◎1部「わび・さび」の違いについて「わび・さび」の違いについての説明と、感覚的な違いを身に付けるために、20点近い「わび・さび」の代表作の写真を見ました。わび : 不足を詫びる感覚 「- (マイナス)」さび : 時間の経過と共に、内面からにじみ出てくる感覚 「+ (プラス)」

◎2部 根津の町で、「わび・さび」を探し、写真撮影各チームで、「わび」、「さび」を街中で探し、写真撮影をしました。また、なぜそれを「わび」と思うか、「さび」と思うかの理由を組み立てました。雪チームの見つけた「さび」月チームの見つけた「わび」月チームの見つけた「さび」花チームの見つけた「わび」

◎3部 町で見つけた「わび・さび」を使って、誰かをもてなす茶会を組み立て自分たちの決めた正客をお招きするための架空の茶会を企画しました。正客を自由に決め、そしてその招きたい理由を決めます。茶会で使うお軸・茶碗を始めとするお道具類も茶会の方針によって自由に決めました。

△雪チーム正客：徳川家康

・茶会タイトル：定礎

・茶会日：明治2年8月1日



△月チーム

- ・正客：安部晋三氏
- ・茶会タイトル：本日休診茶会日：総裁選前日



△花チーム正客：ゴッホ

- ・茶会タイトル：根津探濃（ねづたんのう）
- ・茶会日：平成18年9月16日



○どのチームもなかなか個性的な茶会の組み立てでした。

参加者の感想・何気なく一緒に使っていた「わび」と「さび」の違いがわかってよかった。・周囲のものをつい「わび」か、「さび」か、と見てしまうようになりそうだ。わび・さびの感覚を持った生活の第一歩になったかな。

○平野先生は、「茶道のプロフェッショナルではない」とお断りを開始前に述べられましたが、「ものづくり」の現場におられ、かつ、創造や発想の根本を伝えたい、という気持ちを持っておられる方です。現場で培われたアプローチで、「わび・さび」を新鮮にきりとってみせていただく時間になりました。